



発行所
 (一社) 長野県保育連盟
 長野市大字中御所字岡田98-1
 長野保健福祉事務所庁舎内(2階)
 TEL026(228)4415
 FAX026(228)9443
 e-mail:kenhoren@khaki.plala.or.jp
 https://horen-nagano.jp/
 題字 海野会長

第六十一回関東ブロック保育研究大会
 コロナ禍の中、新しい取り組みとしての「学び」の場となった大会

大会を終えて

長野県保育連盟会長 海野 暁光

新型コロナウイルスの影響で、開催が一年延期され、会場参集とWeb研修のハイブリッド型となった第六十一回関東ブロック保育研究大会が、関係各位のご尽力により、無事開催することができました。

大会宣言に『予測困難な時代にあって、子ども達には、前向きに変化を受け止め、よりよい豊かな未来の創り手になっていくことが期待され：』とありますが、我々保育者にも、変化への柔軟な対応が求められています。子どもが主役の対話的・協働的でワクワクウキウキする

保育実践の伴走者になっていくことが期待されています。



そんな大会の会場で、新井紀子先生の基調講演をお聞きしながら、ある疑問を抱きました。それは、リーディングスキルテストの結果が芳しくない場合、教科書が読めない子ども

もたち同様、保育所保育指針が正しく理解できないのでは...と。

ここで問題です。指針で示される「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」は、「小学校入学までに育てたい10の姿」と読み替えることができる。○か×か。

新しい保育が求められています。今までの知識や経験のみを基準にするのではなく、先駆的な取り組みをしている保育実践を見聞し、学びほぐしをしたうえで指針を読む必要があります。

時間や距離の制約が無く、好きな時に好きな場所で研修を受けられる新たな取り組みが、私達の保育の質向上に寄与することを願っています。

オープニング



山崎 浩様
 沼田 秀美様による歌唱、ピアノ演奏

全体会



開催市長あいさつ
 加藤 久雄 長野市長



主催者あいさつ 関東ブロック保育協議会
 風間 嘉信 会長



主催者あいさつ 阿部 守一 長野県知事



国立情報学研究所 社会共有知研究センター
センター長・教授 新井 紀子 先生

テーマ
「AIに負けない子どもを育てる」

基調講演



来賓あいさつ 全国保育協議会
奥村 尚三 会長

学びの形を見直す時期が訪れてい
ます。これからの幼児教育・保育で
は、夢や願いを実現し、新しい物を
創造するといった力を育む新しい学
びが必要です。
私が提案したいことは、「子どもは
生まれながらにして学ぶ力を持って
いる」という考えを前提に、子ども
身の学ぼうとする力に大人が寄り添
い、学び続けることで夢や願いを實現

「新井先生に聞きたい！
AI時代の到来…
求められる資質能力とは」
を受けて
長野大会実行委員
総務部長 竹内 勝哉

パネルディスカッション



竹内 延彦 氏(池田町教育長)
竹内 勝哉 氏(認定こども園あそびの森あきわ園長)
海野 暁光 氏(認定こども園深志園長) (右から)



ソーシャルディスタンスを確保して受講

するという学びです。そのためには、
子どもの「やりたい」という気持ちを
基に「興味関心から広がる遊び」を
保障することが大切です。それによ
り、一人の願いが遊びを通してみんな
の願いになったり、様々な異なった興
味関心が混ざり合いおもしろい遊びが
組み立てられていたりします。この
魅力的な遊びの連続こそが「主体的、
対話的で、深い学び」につながります。
ただし、「経験を通して学ぶ」こと
は大切なのですが、「保育者が経験さ
せる」のではなく「子ども自身が経
験できるように保育者が関わる」こ
とが大切です、この保育者と子どもの
関係が主体的な学びの重要なポイン
トであることを忘れてはなりません。
これにより、多くの保育者が保育
を心から楽しみ、共に学ぶことで成
長していくことを願っています。

第六十一回関東ブロック保育研究
大会の開催にあたり、新型コロナウ
イルス防止対策の初めての試みとし

分科会がオンデマンド配信に
長野大会実行委員
分科会運営部長 小林加奈栄

分科会



次期開催地は東京です



東京都あいさつ

て、分科会もオンデマンド配信で行いました。普段、保育の現場ではあまり耳慣れないこともあり、戸惑われた方もいらしたかと思えます。

視聴いただいた発表園・施設の動画は、各都県市の皆さんが丁寧に取り上げていただきました。七月二十日から配信された助言動画は、Zoomにて各発表者と助言者が打ち合わせを行うことにより、助言者の先生方から、たくさんのお有益な助言をいただきました。

オンデマンド配信による分科会は、臨場感や学びの共有感を味わうことはできませんでしたが、「一園「IID」の申し込みで、第一分科会から特別分科会までの全てを視聴していただくことができました。従来の一人一分科会の受講から、大きく学びの幅が広がったのではないのでしょうか。

今回の、初めてのオンデマンド配信にあたり、ご不便もあつたかと思いますが、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

皆様の学びが、これからの保育に役立てていただけたら幸いです。



パート職員も研修意識が持てた 分科会オンデマンド配信研修

長野大会実行委員
広報・資料部副部長 野神 美穂

保育園単位で申し込んだところ、個人で申し込んだところ、市町村で申し込んだところ、参加の仕方は様々でした。研修の形も違ったと思います。

ある私立の保育園では、自由参加の形で研修をしました。例年ですと、関東ブロック大会のような大規模な大会は代表の職員しか参加できませんでした。研修のたびに「パートの先生にも聞かせてあげたかった」という思いが募りました。しかし今回は、視聴の日や時間を選ぶことができ、尚且つ「これよかったよ」と聞くと、日曜も出てきて視聴する、1回視した人ももう一度視るといふパートさんもいました。

これまで、研修と言うと控えめだったパート職員でしたが、「とても参考になった」と研修意欲が高まったことを喜んでおられました。

ある市では、一つの園に集まって視聴しました。時間の関係で二人の助言者の講演を聞くか、一つの分科会の発表と助言にするか悩みました

が、どの保育園の研究発表もとても参考になったので後者を選択し研修しました。他園の保育室の環境の工夫に「いいね。うちでもやってみよう」と声を出したり、一人の子どもの発見や疑問をみんなで考えていく姿に「なんて目が輝いているんだろ、楽しそう。うちの子どもたちはどうだろう」と自分の保育を振り返っている職員もいました。

特別分科会は、信州やまほいく普及型認定の2園を本来であれば実際に参観できるはずで楽しみにしていたので少し残念でしたが、ビデオでも十分に伝わってきました。

せっかくなので、すべての分科会を選択できるように、計画して研修の日を設ければよかったと配信終了した今、少し後悔しているところです。



開催状況

全体会	令和3年7月1日 ホクト文化ホール
分科会	令和3年7月2日～31日 オンデマンド配信
参加園数(申込み)	
会場参集	91園
動画配信	571園
合計	662園
配信動画閲覧回数	23,130回

大会を終えても終わって 気がしないのです

長野大会実行委員長 峰川 暁見

七月一日、ホクト文化ホールにおいて標記大会が開催されました。当初予定より一年を経ての開催です。会場参集百名、ライブ視聴二百名超となりました。オンデマンド配信で参加される方もいらっしゃいますので、実参加者はさらに増えると思われまます。

今大会は、会場参集とWeb配信の両方を用いたハイブリッド型研修という新しい形に挑戦しています。東京オリンピックの一年延期と感染症対策に翻弄された結果ですが、これらを負の側面で見えるだけでなく、このご縁をどう活かしてさらに充実した内容の研修にしていけるか。スタッフの皆さんと「主体的、



大会委員会

協同的」な話し合いを経てたどり着いた形です。

関係各位の協力と創意工夫のもと、何とか成し遂げることができました。この度の大会運営は、決してAIにはできないことだったのではないかと自負しています。大会に係るすべての有縁の皆様へ感謝申し上げます。この大会の良い点や至らなかった点の全てが今後のより善い大会運営の礎（いしずえ）となることを願います。

そして大会は、オンデマンド配信にて七月末まで続きます。なんだか終わった気がしないのは、私だけでしょうか…。



全体会場 ホクト文化ホール



駐車場整理



入念な打ち合わせ



一日ありがとうございました。お疲れ様でした



係員総出のお見送り



保育に使えるおもちゃ、給食用サンプルのお店



朝少し早く出勤して、パソコンを開いている職員がいました。分科会を見えていました。オンデマンド配信となったことで、自分たちで見たい時間に学べる。そんな大会となりました。そして、皆が学ぼうとしている姿は素敵な光景でした。ありがとうございました。

関東ブロック保育研究大会は、新しい「学び」の提言として成功したのではないかなと思います。本号では七月を振り返り、「大会を終えて」ということで、何人かの実行委員の皆さんから感想を寄せていただきました。

ありがとうございました
 長野大会実行委員
 広報・資料部長 片桐 章子

(一社) 長野県保育連盟
令和3年度通常社員総会

令和3年度通常社員総会は、5月24日、長野市において開催されました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面議決を認めることとし、36名の代議員から書面議決書が提出されました。出席代議員は、2名でした。

海野会長あいさつ、長野県こども・家庭課の藤木課長様ご祝辞の後、議事に入り、議案は全て全会一致で承認・可決されました。

第一号議案

令和2年度事業報告について

第二号議案

令和2年度収支決算について

令和2年度財務諸表

監査報告

第三号議案

令和3年度事業計画(案)について

第四号議案

令和3年度収支予算(案)について

第五号議案

定款の一部変更について

第六号議案

理事の選任について

海野会長あいさつ

皆様お忙しい中、令和3年度通常社員総会にお越しいただき、ありがとうございます。また、長野県こども・家庭課の藤木課長様におかれましてもお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

川崎市において、新型コロナウイルスワクチン接種の当日キャンセル分を、保育者に優先的に配分しているとの事例をうかがい、藤木課長さんにお伝えしました。国から市町村に対し優先順位の基準が示されていますので、皆さんから首長や保育担当課にこうした情報を伝えていただければと思います。

組織は様々な情報を共有できますので、全国保育協議会、長野県保育連盟を通じて、ネットワークを形成しながら子供たちのために活動できればと思います。国においては、「子ども庁」が検討されています。これに対しても意見を述べていく必要がありますので、皆様からも意見をいただきながら、コロナ禍における保育、その後の保育を充実させていければと考えておりますので、よろしくお願いたします。

藤木課長あいさつ

長野県こども・家庭課長を務めております藤木です。よろしくお願いたします。

日ごろ県の保育施策・子育て支援施策の推進に、ご支援ご協力をいただき、お礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の第4波ですが、感染力が強い変異株の割合が増加しており、子供も感染しやすい可能性が指摘されています。複数の保育所で陽性者、濃厚接触者が出ており、休園をしている保育所も増えています。

特に飲食中の会話、休憩時のマスク着用なし会話が非常にリスクが高いと考えられます。正しいマスクの着用、手洗い、消毒、こまめな換気など基本的な対策の徹底が最も有効な対策とかがつています。

また、発熱に限らず咳が出るなど風邪症状がある場合は、出勤・登園をせず、速やかにかかりつけ医に相談するようにしていただきたいと思っております。

昨年度末、信州幼児教育支援センターにおいて、「保育者育成指標」及び「小学校との接続カリキュラム理論編」を策定しました。「保育者育成指標」は保育者の段階ごとにあるべき姿を指標として示したものになっています。これらを参考にしながら、園の特長を伸ばしていただきたいと思っております。

昨年中止となった関東ブロック保育研究大会ですが、リモートを活用しながら開催の運びになりました。県も主催者の一員として、保育現場

の皆様と一丸となって力を尽くしていく所存でございます。

長野県保育連盟のますますの発展と、ご出席の皆様のご健勝をお祈りして、あいさつといたします。

主な決定事項

○令和3年度事業計画

・長野県保育研究大会

開催地は小諸市。分科会は、オンデマンド配信を中心に行います。詳細は、今後決定します。

・保育所地域子育て塾

オンデマンド配信で行います。時期は、今後決定します。

○令和3年度収支予算

従事者割1人当たりの会費は、規程どおりの千五百円になります。

○定款の一部変更

事務局の移転により、連盟の所在地を「長野市内」に改めます。

○理事・監事の選任

任期満了に伴う改選(次ページ参照)

「新型コロナウイルス『デルタ株』と闘う県民共同宣言」に賛同しています

長野県は、8月12日に「新型コロナウイルス『デルタ株』と闘う県民共同宣言」を发出しました。長野県保育連盟は、この宣言に賛同しています。力を合わせ「デルタ株」感染拡大の危機を乗り越えましょう。

令和3年度 (一社) 長野県保育連盟 役員・代議員名簿

顧 問

役職名	氏 名	職 名	施設名
顧 問	飯 島 俊 勝	園 長	認定こども園芙蓉園

正 副 会 長

役職名	氏 名	職 名	施設名	役職名	氏 名	職 名	施設名
会 長	海 野 暁 光	園 長	認定こども園深志	副会長	長谷川 聡 子	園 長	とがり保育園
副会長	平 川 宏 恵	園 長	千曲保育園	〃	峰 川 暁 見	園 長	芹田東部保育園
〃	加 藤 麗	園 長	あやめ保育園	〃	寺 島 美智子	園 長	生坂村児童館・生涯学習施設
〃	町 田 和	園 長	穂高認定こども園				

理 事

地 区	氏 名	職 名	施設名	地 区	氏 名	職 名	施設名
東 信	内 堀 昌 明	園 長	やまゆり保育園	中 信	松 澤 由 佳	園 長	認定こども園小谷村保育園
〃	有 賀 実 咲	園 長	塩田中央保育園	〃	高 橋 典 子	園 長	島内保育園
〃	佐々木 久美子	園 長	切原保育園	北 信	清 水 みどり	園 長	長丘保育園
南 信	有 賀 美智代	園 長	中央保育園	〃	中 村 美智子	園 長	南条保育園
〃	原 尚 彦	課 長	岡谷市子ども課	〃	新 谷 貴 和	課長補佐	長野市保育・幼稚園課
〃	両 角 勢津子	園 長	湖東保育園	〃	渡 辺 徹	園 長	古牧東部保育園
中 信	塚 原 えつ子	園 長	あさひ保育園	全県私立	高 橋 比呂美	園 長	認定こども園みのり保育園

監 事

地 区	氏 名	職 名	施設名	地 区	氏 名	職 名	施設名
東 信	西 田 祐 恒	園 長	さくら保育園	南 信	中 村 君 江	主 任	原村保育園

代 議 員

地 区	氏 名	職 名	施設名	地 区	氏 名	職 名	施設名
南佐久	石 井 佳 代	園 長	栄 保 育 園	岡 谷	新 村 英 子	園 長	横 川 保 育 園
北佐久	山 口 恵 理	園 長	たてしな保育園	飯 田	近 藤 政 彰	園 長	さくら保育園
小 県	岸 部 睦 美	園 長	和田保育園	〃	上 沼 佳 子	園 長	上久堅保育園
諏訪郡	小 松 裕 美	園 長	さくら保育園	諏 訪	笠 原 恵	園 長	城北保育園
上伊那	伊 澤 美 恵	園 長	七久保保育園	須 坂	小 林 庸 高	園 長	さかた山風の子保育園
〃	小 澤 理 美	園 長	東部保育園	小 諸	深 井 優 子	園 長	千曲保育園
下伊那	平 栗 富 士男	係長兼事務局長	泰 阜 保 育 所	伊 那	穂 高 かほる	園 長	伊那北保育園
〃	林 田 諭	事務局長	喬木村教育委員会	〃	矢 野 淳 子	園 長	東 春 近 保 育 園
木 曾	牧 野 由起子	園 長	上 松 保 育 園	駒ヶ根	小 澤 明 子	園 長	経塚保育園
東筑摩	塚 原 京 子	園 長	麻 績 保 育 園	中 野	富 岡 幸 子	園 長	たかやしろ保育園
北安曇	太 田 有 紀	園 長	しろうま保育園	大 町	中 條 きよみ	園 長	はなのき保育園
上高井	牧 益 子	園 長	たかやま保育園	飯 山	中 村 まゆみ	園 長	しるやま保育園
北 信	岸 香 理	園 長	のぞわこども園	茅 野	篠 原 ルミ	園 長	米 沢 保 育 園
上水内	根 津 ちひろ	園 長	野 尻 保 育 園	塩 尻	林 和 子	園 長	吉田ひまわり保育園
長野(公)	有 野 文	園 長	塩 崎 保 育 園	ちくま	島 田 里 美	園 長	杭 瀬 下 保 育 園
〃	西 澤 裕 子	園 長	昭 和 保 育 園	〃	松 本 かつ子	園 長	あかね北保育園
長野(私)	浦 野 和 子	園 長	長野大橋保育園	佐 久	伊 藤 美奈子	園 長	城 山 保 育 園
〃	海 野 和 貴	園 長	吉 田 保 育 園	〃	小 林 千恵子	園 長	小 雀 保 育 園
松 本	斉 藤 さゆり	担当課長	松本市保育課	東 御	小 林 己和子	園 長	和 保 育 園
〃	百 瀬 富貴子	園 長	宮 田 保 育 園	安曇野	三 好 廣 美	園 長	西穂高認定こども園
上 田	松 井 裕 子	園 長	東 塩 田 保 育 園	〃	米 倉 菜穂美	園 長	三郷西部保育園
〃	市 川 みどり	園 長	ちぐさ幼稚園				

(一社)長野県保育連盟
令和2年度事業報告

(1) 1 会 議

通常社員総会

(出席できない代議員は書面議決)

令和2年5月18日(月)

(長野市 ホテル信濃路)

- ア 令和元年度事業報告及び収支決算について
- イ 財務諸表について
- ウ 監査報告
- エ 令和2年度事業計画(案)について
- オ 令和2年度の会費及び収支予算(案)について
- カ 理事の選任について

区分	期日	内容
書面議決	令和2年 4月24日(金)	令和2年度通常社員総会 招集について
書面議決	令和2年 5月7日(木)	社員総会に提出する議案 について(R元事業報告・ 収支決算、R2事業計画 案・収支予算案)

区分	期日・会場	内容
第1回	令和2年 9月11日(金)	災害見舞金規程の制定に ついて、事務局職員就業 規則の改正について、事 務局職員の定年等に関す る規程の改正について、 事務局職員の給与規程の 改正について 他
第2回	令和3年 3月11日(木)	令和2年度事業報告及び 収支決算見込みについ て、令和3年度事業計画 (案)及び収支予算(案)に ついて 他

(3) 監 査
第1回、第2回はウェブ会議で実施。

(4) 正副会長会議
令和2年4月22日(水)
(長野市 長野県社会福祉総合センター)
令和元年度事業及び収支決算、財務諸表につ
いて受検

区分	期日・会場	内容
第1回	令和2年 5月18日(月) 長野市 ホテル信濃路	ア 令和元年度事業報告 及び収支決算について イ 財務諸表について ウ 令和2年度事業計画 (案)について エ 令和2年度の会費及 び収支予算(案)につ いて 他
第2回	9月11日(金) ウェブ会議	長野県知事との懇談・県 政要望について 他

第3回	10月19日(月) ウェブ会議	長野県知事との懇談・県 政要望について、被災地 支援募金の配分について、 令和3年度長野県保育研 究大会について 他
-----	--------------------	--

第4回	12月23日(水) 長野市 ホテル国際会館	令和3年度長野県保育研 究大会について、令和3 年度関東ブロック保育研 究大会について 他
-----	-----------------------------	--

第5回	令和3年 2月4日(木) ウェブ会議	令和3年度長野県保育研 究大会のWEB活用につ いて 他
-----	--------------------------	------------------------------------

第6回	令和3年 3月11日(木) ウェブ会議	令和2年度事業報告及び収 支決算見込みについて 他
-----	---------------------------	------------------------------

(1) 2 部会、委員会
管理部会

項目	内容
研究テーマ等	園外保育マニュアルの検討 2回開催

項目	内容
保育部会	

研究テーマ等	内容
保育ハンドブック2020の作成 2回開催	

(3) 給食委員会

項目	内容
研究テーマ等	食物アレルギー対応レシピ集、保育所におけるアレルギー対応ガイドライン改訂のポイントの作成（ホームページ掲載） 2回開催

3 研修会等

- (1) 保育所地域子育て塾 中止
- (2) 全国保育協議会関係
教育・保育施設長専門講座 参加者なし
保育人材養成会議 1人
- (3) 関東ブロック保育協議会
保育士の専門性を高める研修会 参加者なし
- 4 保育研究大会
 - (1) 第60回長野県保育研究大会（小諸市） 中止
 - (2) 第61回関東ブロック保育研究大会（長野市） 中止
 - (3) 第63回全国保育研究大会（三重県津市） 中止
 - (4) 第61回関東ブロック保育研究大会（長野大会）実行委員会
大会は中止となったが、来年度長野市での開催が決定されたため、引き続き活動を継続。全体会は参集及びライブ配信・オンデマンド配信、分科会はオンデマンド配信での開催を決定。

5 全国・関東ブロック会議

- (1) 全国保育協議会協議員総会
- (2) 全国保育組織正副会長等会議
- (3) 関東ブロック保育協議会会長会
- (4) 関東ブロック保育事業連絡協議会

6 機関紙「保育しなの」の発行

（広報委員会の開催 1回）

区分	発行	内容
第172号	令和2年7月10日	社員総会、令和元年度決算、事業報告、令和2年度予算、事業計画等
第173号	令和3年3月5日	知事との懇談、部会・委員会活動報告等

7 保護者向け情報誌「すこやか」の発行

第35号（令和3年2月）

8 保育施策及び予算に関する知事要望等

令和2年12月23日（水）
長野県庁、海野会長及び副会長6名出席
「保育施策と予算に関する要望書」を提出、阿部知事及び野中こども・若者担当部長と懇談した。

9 保育士養成校との懇談会

連盟役員と保育士養成校の懇談をウェブ会議により実施。

令和3年3月11日（木）：保育士養成校（8校、12人）、連盟（会長、副会長他8人）

10 保育士等キャリアアップ研修

保育所地域子育て塾及び長野県保育研究大会の中止により未実施。

11 その他

- (1) 保育所児童保育要録、幼保連携型認定こども園園児指導要録ほかの様式、「保育要録等記入の手引き」を有償配布した。
- (2) 保護者向けの「食事に関するリーフレット」を作成し、無償配布した。
- (3) ホームページによる各種情報発信
- (4) 保育災害保障共済会の運営



(一社) 長野県保育連盟令和2年度収支決算書

(単位:円)

科 目	予算額	流用額	予算現額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
特定資産運用収入	1,000		1,000	1,602	△ 602
特定資産利息収入	1,000		1,000	1,602	△ 602
会費収入	14,845,000		14,845,000	14,714,300	130,700
正会員会費収入	14,845,000		14,845,000	14,714,300	130,700
保育所割	3,025,000		3,025,000	3,006,000	19,000
従事者割	7,100,000		7,100,000	7,025,000	75,000
園児割	4,720,000		4,720,000	4,683,300	36,700
事業収入	2,620,000		2,620,000	2,845,032	△ 225,032
共同印刷収入	2,600,000		2,600,000	2,830,040	△ 230,040
研究集録収入	0		0	0	0
図書斡旋手数料収入	20,000		20,000	14,992	5,008
保育研究大会参加費収入	0		0	0	0
共済分担金収入	0		0	0	0
組織強化費等収入	275,000		275,000	273,000	2,000
全保協組織強化費収入	275,000		275,000	273,000	2,000
雑収入	1,001,000		1,001,000	1,444,207	△ 443,207
受取利息収入	1,000		1,000	178	822
予算対策協力金収入	900,000		900,000	1,009,229	△ 109,229
雑収入	100,000		100,000	434,800	△ 334,800
事業活動収入計	18,742,000		18,742,000	19,278,141	△ 536,141
2 事業活動支出					
事業費支出	19,851,000	0	19,851,000	11,640,106	8,210,894
給料手当支出	4,726,000		4,726,000	4,480,000	246,000
法定福利費支出	790,000		790,000	761,000	29,000
会議費支出	467,000		467,000	123,100	343,900
旅費交通費支出	1,456,000	△ 48,000	1,408,000	417,872	990,128
通信運搬費支出	30,000	48,000	78,000	77,536	464
消耗品費支出	120,000		120,000	0	120,000
印刷製本費支出	5,493,000		5,493,000	3,127,856	2,365,144
賃借料支出	25,000	13,000	38,000	37,160	840
諸謝金支出	150,000	△ 13,000	137,000	100,233	36,767
助成金支出	200,000		200,000	0	200,000
租税公課支出	75,000		75,000	71,000	4,000
負担金支出	2,824,000		2,824,000	0	2,824,000
給付金支出	3,000,000		3,000,000	2,210,000	790,000
委託費支出	410,000		410,000	210,000	200,000
役務費支出	35,000		35,000	24,349	10,651
雑支出	50,000		50,000	0	50,000
管理費支出	7,741,000	0	7,741,000	6,970,636	770,364
給料手当支出	1,181,000		1,181,000	1,117,420	63,580
退職給付支出	247,000	170,000	417,000	415,640	1,360
法定福利費支出	197,000	2,000	199,000	189,912	9,088
福利厚生費支出	30,000		30,000	23,819	6,181
会議費支出	70,000		70,000	49,782	20,218
旅費交通費支出	303,000	△ 172,000	131,000	56,337	74,663
通信運搬費支出	500,000	△ 95,000	405,000	352,456	52,544
消耗什器備品費支出	100,000	95,000	195,000	192,069	2,931
消耗品費支出	250,000		250,000	107,650	142,350
印刷製本費支出	100,000		100,000	30,108	69,892
光熱水料費支出	60,000		60,000	45,461	14,539

賃借料支出	110,000		110,000	44,300	65,700
租税公課支出	10,000		10,000	10,000	0
負担金支出	3,657,000		3,657,000	3,570,268	86,732
委託費支出	726,000	△ 55,000	671,000	561,000	110,000
役務費支出	50,000	55,000	105,000	104,414	586
雑支出	150,000		150,000	100,000	50,000
事業活動支出計	27,592,000		27,592,000	18,610,742	8,981,258
事業活動収支差額	△ 8,850,000		△ 8,850,000	667,399	△ 9,517,399
Ⅱ投資活動収支の部					
1投資活動収入					
特定資産取崩収入	3,154,000		3,154,000	0	3,154,000
関東ブロック保育研究大会積立資産取崩収入	2,804,000		2,804,000	0	2,804,000
退職給付引当資産取崩収入	0		0	0	0
災害支援給付積立資産取崩収入	350,000		350,000	0	350,000
投資活動収入計	3,154,000		3,154,000	0	3,154,000
2投資活動支出					
特定資産取得支出	501,000		501,000	69,376	431,624
関東ブロック保育研究大会積立資産取得支出	0		0	198	△ 198
保育共済会積立資産取得支出	1,000		1,000	603	397
災害支援給付積立資産取得支出	500,000		500,000	68,575	431,425
投資活動支出計	501,000		501,000	69,376	431,624
投資活動収支差額	2,653,000		2,653,000	△ 69,376	2,722,376
Ⅲ財務活動収支の部					
1財務活動収入					
財務活動収入計	0		0	0	0
2財務活動支出					
財務活動支出計	0		0	0	0
財務活動収支差額	0		0	0	0
Ⅳ予備費支出	800,000		800,000	0	800,000
当期収支差額	△ 6,997,000		△ 6,997,000	598,023	△ 7,595,023
前期繰越収支差額	13,626,000		13,626,000	13,620,846	5,154
次期繰越収支差額	6,629,000		6,629,000	14,218,869	△ 7,589,869

令和2年度事業別決算額（給与関係費を除く）

(単位：円)

事業区分	予算額	決算額	差異	備考
保育研究大会	0	0	0	
関ブロ保育研究大会	2,804,000	0	2,804,000	大会延期のため不執行
子育て塾	0	0	0	
研修費	372,000	0	372,000	延期などにより執行なし
調査研究	1,981,000	892,225	1,088,775	部会、委員会の経費
食事リーフレット	403,000	332,937	70,063	食事リーフレット無償配布
表彰	40,000	0	40,000	会長表彰なし
中央会議	366,000	0	366,000	会長会はリモート開催
広報	1,449,000	878,725	570,275	保育しなの、すこやかかの発行
共同印刷・研究集録	3,875,000	2,083,569	1,791,431	
災害保障共済	833,000	0	833,000	私立保育所等の災害保障
災害支援給付	2,212,000	2,211,650	350	災害見舞金制度等
合計	14,335,000	6,399,106	7,935,894	

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,602	3,923	△ 2,321
特定資産受取利息	1,602	3,923	△ 2,321
受取会費	14,714,300	18,557,900	△ 3,843,600
正会員受取会費	14,714,300	18,557,900	△ 3,843,600
保育所割	3,006,000	3,047,000	△ 41,000
従事者割	7,025,000	10,768,500	△ 3,743,500
園児割	4,683,300	4,742,400	△ 59,100
事業収益	2,845,032	5,626,923	△ 2,781,891
共同印刷収益	2,830,040	2,657,775	172,265
研究集録収益	0	1,220,000	△ 1,220,000
図書斡旋手数料収益	14,992	26,148	△ 11,156
保育研究大会参加費収益	0	1,668,000	△ 1,668,000
共済分担金収益	0	55,000	△ 55,000
組織強化費等収益	273,000	277,000	△ 4,000
全保協組織強化費収益	273,000	277,000	△ 4,000
雑収益	1,444,207	2,870,967	△ 1,426,760
受取利息	178	126	52
予算対策協力金	1,009,229	989,685	19,544
雑収益	434,800	1,881,156	△ 1,446,356
経常収益計	19,278,141	27,336,713	△ 8,058,572
(2) 経常費用			
事業費	11,640,106	20,670,692	△ 9,030,586
給料手当	4,480,000	4,715,000	△ 235,000
法定福利費	761,000	917,000	△ 156,000
会議費	123,100	540,879	△ 417,779
旅費交通費	417,872	2,331,571	△ 1,913,699
通信運搬費	77,536	10,681	66,855
消耗品費	0	27,447	△ 27,447
印刷製本費	3,127,856	5,343,516	△ 2,215,660
賃借料	37,160	819,775	△ 782,615
諸謝金	100,233	476,384	△ 376,151
支払助成金	0	580,000	△ 580,000
租税公課	71,000	71,000	0
支払負担金	0	4,000,000	△ 4,000,000
支払給付金	2,210,000	0	2,210,000
委託費	210,000	788,400	△ 578,400
役務費	24,349	49,039	△ 24,690
雑費	0	0	0
管理費	6,970,636	7,910,692	△ 940,056
給料手当	1,117,420	1,185,600	△ 68,180
退職給付費用	415,640	235,637	180,003
引当金繰入	415,640	235,637	180,003
法定福利費	189,912	228,722	△ 38,810
福利厚生費	23,819	24,443	△ 624
会議費	49,782	203,403	△ 153,621
旅費交通費	56,337	295,929	△ 239,592
通信運搬費	352,456	631,265	△ 278,809
消耗什器備品費	192,069	394,350	△ 202,281
消耗品費	107,650	162,406	△ 54,756
印刷製本費	30,108	27,357	2,751
光熱水料費	45,461	51,145	△ 5,684
賃借料	44,300	3,600	40,700
租税公課	10,000	10,000	0
支払負担金	3,570,268	3,586,562	△ 16,294

支払寄付金	0	0	0
委託費	561,000	683,066	△ 122,066
役務費	104,414	83,047	21,367
雑費	100,000	104,160	△ 4,160
予算対策協力金	0	0	0
経常費用計	18,610,742	28,581,384	△ 9,970,642
評価損益等調整前当期経常増減額	667,399	△ 1,244,671	1,912,070
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	667,399	△ 1,244,671	1,912,070
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	667,399	△ 1,244,671	1,912,070
一般正味財産期首残高	64,109,083	65,353,754	△ 1,244,671
一般正味財産期末残高	64,776,482	64,109,083	667,399
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	64,776,482	64,109,083	667,399

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	14,348,753	14,795,580	△ 446,827
普通預金	13,522,156	14,772,024	△ 1,249,868
ゆうちょ銀行	26,563	23,556	3,007
定期預金	800,034	0	800,034
未収金	183,950	143,210	40,740
前払金	0	0	0
流動資産合計	14,532,703	14,938,790	△ 406,087
2 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,199,508	1,788,348	411,160
経営安定積立資産	13,500,000	13,500,000	0
関東ブロック保育研究大会積立資産	2,803,451	2,803,253	198
災害支援給付積立資産	68,575	0	68,575
保育共済会積立資産	34,185,587	34,184,984	603
特定資産合計	52,757,121	52,276,585	480,536
固定資産合計	52,757,121	52,276,585	480,536
資産合計	67,289,824	67,215,375	74,449
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	248,333	1,223,011	△ 974,678
預り金	65,501	94,933	△ 29,432
流動負債合計	313,834	1,317,944	△ 1,004,110
2 固定負債			
退職給付引当金	2,199,508	1,788,348	411,160
固定負債合計	2,199,508	1,788,348	411,160
負債合計	2,513,342	3,106,292	△ 592,950
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産	64,776,482	64,109,083	667,399
正味財産合計	64,776,482	64,109,083	667,399
負債及び正味財産合計	67,289,824	67,215,375	74,449

(一社) 長野県保育連盟 令和3年度事業計画

新たな保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が適用され、幼児教育・保育の無償化も始まり、保育ニーズの一層の増加が予想されます。長野県においては、信州幼児教育支援センターのフィールド研修などにより県内すべての保育所・認定こども園・幼稚園における質の高い幼児教育の実現に向け、期待が高まっています。こうした中、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育現場においてはこれまで以上に細やかな対応が求められています。

一般社団法人長野県保育連盟は、引き続き長野県や市町村の子育て支援対策に、積極的に支援と協力をしていきます。保育所、認定こども園が地域で担う役割、果たす使命を十分に認識して、保育の質の向上、保育士・保育教諭の資質向上を図るため、令和3年度は次の活動方針により別表の事業を実施します。

活動方針

項目	内容
1 子どもの育ちと保護者の子育てを支える	<ul style="list-style-type: none"> ○質の高い保育・教育のあり方について研究し実践につなげる。 ○保育士、保育教諭の資質・専門性の向上を図る。 ○保護者向けの子育て関連情報を発信する。 ○第61回関東ブロック保育研究大会の開催準備を進める。
2 地域における子育て支援の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○地域子育て支援拠点としての機能の充実を図る。 ○地域資源（人、物、知恵、環境など）の活用と連携を図る。
3 子どもをあらゆる災害から守る	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内、施設周辺的环境を点検し、事故防止に努める。 ○子育て不安や児童虐待などに対する支援の充実を図る。 ○地域や関係機関との連携を深め、安全な保育環境を確保する。 ○災害支援給付金制度の充実を図る。
4 新たな事業展開への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページ、機関紙を活用して情報発信を行う。 ○ウェブ会議などを活用し、事業を推進する。

別表

事業名	内容
長野県保育研究大会	第60回長野県保育研究大会(小諸市) 10月17日 保育士等キャリアアップ研修を兼ねる
保育所地域子育て塾	県下4地区(東信、南信、中信、北信)で開催 保育士等キャリアアップ研修を兼ねる
調査及び研究	管理部会、保育部会、給食委員会において、新たに求められる対応・課題などについて調査・研究を進める。
食事に関するリーフレットの配布	子どもの食育を促進するため、保護者に対して年齢別の食事リーフレット(子どもの食事)を無償配布する。
機関紙の発行	機関紙「保育しなの」を発行(年3回、広報委員会担当)する。
ホームページの運営・管理	連盟のホームページによる情報発信を行う。
保護者向け情報誌(すこやか)の発行	長野県民新聞社と協力して、保護者向け情報誌「すこやか」を発行し、園児の全保護者に無償配布する。(年3回)
災害支援給付金制度	被災した保育施設の保育環境の維持を図るため、給付金制度の充実を図る。
全国及び関東ブロックの大会、会議、研修会への参加	第61回関東ブロック保育研究大会(長野市) 7月 第63回全国保育研究大会(津市) 関ブロ保育事業連絡協議会(群馬県) 9月9日 関ブロ保育士の専門性を高める研修会(埼玉県) 令和4年2～3月 全国保育協議会の各種研修会 その他全国、関東ブロックの会議・研修会への参加
各種会議の開催	通常社員総会、理事会、正副会長会議の開催
関係団体との連携	長野県に「保育施策と予算に関する要望書」を提出する。 県下の保育士養成校と連盟役員の懇談会を開催する。 社会福祉関係団体等が主催する各種会議等に参加する。
参考図書等の斡旋	全国保育協議会等が斡旋する保育に関する図書などの紹介、斡旋
その他	保育園等で使用する保育要録等の共同印刷 その他必要と認められる事業

(一社) 長野県保育連盟令和3年度収支予算

(単位:千円)

科 目	予算(A)	前年度予算(B)	増減(A-B)	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
特定資産運用収入	1	1	0	
特定資産運用利息収入	1	1	0	
会費収入	18,175	14,845	3,330	
正会員会費収入	18,175	14,845	3,330	
保育所割	3,025	3,025	0	
従事者割	10,500	7,100	3,400	R2 減額徴収
園児割	4,650	4,720	△ 70	
事業収入	5,420	2,620	2,800	
共同印刷収入	2,600	2,600	0	
研究集録収入	1,200	0	1,200	
図書斡旋手数料収入	20	20	0	
保育研究大会参加費収入	1,600	0	1,600	
組織強化費等収入	275	275	0	
全保協組織強化費収入	275	275	0	
雑収入	1,101	1,001	100	
受取利息収入	1	1	0	
予算対策協力金収入	1,000	900	100	
雑収入	100	100	0	
事業活動収入計	24,972	18,742	6,230	
2 事業活動支出				
事業費支出	23,296	19,851	3,445	
給料手当支出	4,150	4,726	△ 576	
法定福利費支出	727	790	△ 63	
会議費支出	613	467	146	
旅費交通費支出	3,238	1,408	1,830	
通信運搬費支出	80	78	2	
消耗品費支出	170	120	50	
印刷製本費支出	6,723	5,493	1,230	
賃借料支出	541	38	503	
諸謝金支出	1,150	137	1,013	18,419 給与関係費除く計
助成金支出	700	200	500	
委託費支出	950	410	540	
役務費支出	95	35	60	
租税公課支出	75	75	0	
負担金支出	2,884	2,824	60	関東ブロック保育研究大会
給付金支出	1,100	3,000	△ 1,900	災害共済給付他
雑支出	100	50	50	
管理費支出	8,976	7,741	1,235	
給料手当支出	1,037	1,181	△ 144	
退職給付支出	1,262	417	845	退職積立、退職手当
法定福利費支出	182	199	△ 17	
福利厚生費支出	30	30	0	
会議費支出	200	70	130	
旅費交通費支出	472	131	341	
通信運搬費支出	440	405	35	
消耗什器備品費支出	100	195	△ 95	
消耗品費支出	250	250	0	
印刷製本費支出	100	100	0	
光熱水料費支出	60	60	0	
賃借料支出	354	110	244	
租税公課支出	10	10	0	
負担金支出	3,643	3,657	△ 14	
委託費支出	576	671	△ 95	

役務費支出	110	105	5	
雑支出	150	150	0	
事業活動支出計	32,272	27,592	4,680	
事業活動収支差額	△ 7,300	△ 8,850	1,550	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入	4,499	3,154	1,345	
関東ブロック保育研究大会積立資産取崩収入	2,804	2,804	0	
退職給付引当資産取崩収入	595	0	595	手当支給
保育共済会積立資産取崩収入	1,000	0	1,000	給付金支給
災害支援給付積立資産取崩収入	100	350	△ 250	給付金支給
投資活動収入計	4,499	3,154	1,345	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出	101	501	△ 400	
関東ブロック保育研究大会積立資産取得支出	0	0	0	
保育共済会積立資産取得支出	1	1	0	
災害支援給付積立資産取得支出	100	500	△ 400	
投資活動支出計	101	501	△ 400	
投資活動収支差額	4,398	2,653	1,745	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
予備費	2,000	800	1,200	
当期収支差額	△ 4,902	△ 6,997	2,095	
前期繰越収支差額	14,218	13,626	592	
次期繰越収支差額	9,316	6,629	2,687	

注) 前年度予算額は、流用後の予算額

事業別支出予算（給与関係費を除く）

（単位：千円）

区 分	予算 a	前年度 予算 b	増減 a-b	前年度 実績 c	増減 a-c	備 考
保育研究大会	3,699	0	3,699	0	3,699	H 30 大町大会 3,024
関ブロ保育研究大会	2,804	2,804	0	0	2,804	
子育て塾	1,610	0	1,610	0	1,610	
研修費	832	372	460	0	832	
調査研究	1,681	1,981	△ 300	892	789	
食事リーフレット	403	403	0	333	70	
表彰	90	40	50	0	90	
中央会議	466	366	100	0	466	
広報	1,859	1,449	410	879	980	
共同印刷	3,820	3,875	△ 55	2,083	1,737	
災害保障共済	1,045	1,045	0	0	1,045	
災害支援給付	110	2,000	△ 1,890	2,212	△ 2,102	
合計	18,419	14,335	4,084	6,399	12,020	

保育士養成校との懇談会

「質の高い長野県保育を目指して」 現場と養成校で共に考える

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念があり中止となった県下保育士養成校8校の先生方と、長野県保育連盟役員との懇談会を、新たな試みとしてオンラインにて3月11日(木)に開催しました。

長野県保育連盟海野暁光会長と養成校幹事校飯田女子短期大学田中住幸准教授よりご挨拶をいただきました。

懇談会を開催するにあたり、各参加者より事前に、課題を提出していただき8つを懇談テーマとしました。

1. 実習中の安全対策、コロナ対策について。
 2. コロナ感染禍における保育実習に対する養成校及び実習園の対応について。
 3. 実習生受け入れに困難さを感じたこと、苦慮されたこと。
 4. リカレント教育
- ・現場の先生方からの要望があるのかどうか。

・あるとすればどのような対象、内容を希望されるのか。様々な研修があるのでそれらとの兼ね合いはどうお考えか。

5. これからの保育園が求める学生の資質について。
6. 養成校学生の特徴、意識、職業観の実際。
7. 養成校と保育園・認定こども園が協働して取り組む実習。
8. 保育学生の現場における適応について。

4グループに分かれ、各グループ内で懇談テーマを決め1時間ほどグループ討議をし、全体会にて各グループ討議のまとめを以下のように発表しました。

- 1グループ
 - ・コロナに限らず、すべての安全対策が大事だと思えます。(実習生自身の安全・実習時の園児のけがの対処や自分がけがをした時の対処など)実習生に対し事前オリエンテー

ションなどで養成校と県保連間の最低限のガイドラインが必要かと思えます。県保連でも、田中先生にご協力いただきガイドライン作成に前向きに考えたいと思います。

・リカレント教育について。今までの形式の学びも、オンラインでの研修も大切だと思いますが、園内研修の充実が一番だと思います。

2グループ
・実習生の受け入れは、もつと自由な受け入れで良いのではないかと思えます。園児と遊んでくどもが可愛いと感じていただく事が大切です。報告書を書く事も大事ですが、感じたことを自由に記入することもあって良いかと思えます。

・コロナ禍で、実習生の受け入れが難しい時も、園内の動画を撮ってオンラインで学生さんに観ていただくのも良いと思えます。

3グループ
・高齢者施設等多くの福祉施設で実習生の受け入れが出来ない中で、実習に行けない学生さんを社会全体で考えるべきだと思います。

・100パーセント養成校で修得出来るとは、受け入れる私達も思っていない。自己肯定感が低く、失敗を過度に恐れる学生さんが多数いらっしゃるようです。

実習の機会のとらえ方を理解していただき、実習先は、失敗が出来る場所。たとえ、実習の評価が厳しくても振り返りとしてとらえて欲しいです。学生さんには、解らないことがあつたら、保育士に遠慮なく何でも聞いていただきたいと思っています。

4グループ
・最近では、真面目な学生さんが多いと感じます。

趣味を持つとか、色々な世代の年上の方と会話するとか、ボランティア活動するなどご自分自身を豊かにしていただきたいです。

社会に出ると、色々な考えを持つ保護者の方に要望されることが多いです。そんな保護者の要望を受け入れつつ園の方針をきちんと伝えられるようになれると良いと思います。

・保育士の現場は、女性が多いです。結婚・出産など人生の転機で辞めてしまわず長く続けることが尊い仕事だと思えます。

・早期保育や延長保育など多くなっているのを、学生さんにお手伝いいただくのも良いのではないかと思います。

コロナ禍で、養成校学生さんが持つ不安材料を取り除けるよう養成校・県保連両者協力して行く事を確認しました。

保育者のレジリエンス力を身につける

諏訪保健福祉事務所

保育専門相談員 小池 ひろ子

「なかなかおりしたいよ」

ひろあき

ともだちとけんかした
たっちゃんがるい：
ゆうきだして
「ごめんね」してみた
たっちゃんが
「いいよ」といつてくれた
たっちゃん
なかなかおりができた
ふたりでわらった
コロナとけんかした：
「ごめんね」してみた
コロナはなんにもいわない
だまつているだけ
わらつてもくれない
おこつているだけ
ほくのきもち
つたわらないよ
けんかしても
あそんでくれる
わらつてくれる
「いいよ」をいつてくれる
たっちゃんがだいき

逢えるかな、どんな先生に出逢いお話ができるかな…」

と、わくわくした思いで各保育園を訪問させていただいています。

快活で元氣溢れる先生、優しく温

かな包容力のある先生、初めての保育に戸惑いながらも直向きに無我夢中で頑張っている先生、ベテランでキャリアのあるしつかり者の先生：どんな保育スタイルであろうと、どの先生もみな真摯に一生懸命、保育実践をしています。

保育専門相談員という立場から、どれだけ先生方の立場に立つて傾聴し相談に乗れたらどうか、明日への保育実践に少しでも繋がったかどうか、明日への保育にも頑張つていこうという思いになったらどうかと、内省するばかりです。

この4年間の保育園訪問で、保育者の離職が年々増えてきていることに、たいへん胸を痛めています。現場ではこんなに頑張っているのに、いつも気を張つて子どもたちをしつかりよく見ているのにと、弁護したくなります。保護者の理不尽なクレームであったり、保育者同士の人間関係であったり、いろいろな個性

ある子どもたちの対応に苦慮したり

と、日々のご苦労に頭が下がります。

これからの困難の時代を背負つていく保育者の方々に、ぜひ、身につけてほしい力：それはレジリエンス力です。レジリエンス力は、乳幼児の子どもたちが身につけてほしい非認知能力と全く同じです。子どもたちには自己肯定感を、非認知能力と声を大にしているのにもかかわらず、肝心な保育者の方々が、それらの力が弱くなつていけると感じます。自信をなくし、自己肯定感が下がり、疲弊している保育現場です。

ぜひ、予測できない多様な時代を乗り越えていくために、ご自身のレジリエンス力をしつかり身につけていただきたいのです。

その力を身につけていくには、幅広い視野で物を見ることができるようになること、大きく深呼吸をし信じて待つことができるようにすること、こうでなければいけないという束縛感から一度離れて「もの・こと・ひと」を離見で見直してみること、後はとても簡単な事です。よく食べて、よく寝ること、よく笑うこと、さあ、明日からできますよ。

未来を背負つていく子どもたちのために、A Iに負けない保育士さん、あなたが絶対必要です。

ある一人の中堅の保育士さんから「四年前、先生から、今、やつている保育でいいのよ。大丈夫。いろいろ迷わず、子どものことを大事にかわいがつて愛情を注いでやればそれでいいのよ」と、励ましていただきました。すつかり自信をなくし、保育士をやめようと思つていた時に、先生のお言葉で今、こうして楽しく続けられています。先生に 本当感謝です：」

と、保育園訪問に行った折に声をかけられました。

この保育専門相談員の仕事に就いて、気が付けば早四年目になります。年間約500人の保育者の方々と面談をし、実際の保育を通して相談や指導助言をさせていただいてます。このような、人と人に触れ合いい、保育者の方々はじめかわいい乳幼児の子どもたちに出逢えるお仕事をいただいていることに、ありがたく感謝の思いでいっぱいです。

「今日は、どんな子どもの姿に出

柔らかな心で

伊那保健福祉事務所 保育専門相談員 大日野 昭美



保育園を訪問させていただくとき
の一番の楽しみは、園庭で、また、
保育室で、自分なりの生活を紡いで
いる子どもたちの息づかいを感じる
ことです。

自由に生活を紡いでいる子どもか
らは、「動」と「静」の姿を見ることが
できます。どちらの姿の子どもたち
も、「思いを持ち、よく考え、チャ
レンジしている」すごい子どもたち
だと、M保育園を数回訪問する中で
改めて確信した自分です。

私は、土や砂や水を使って元気に
遊んでいる、「動」の子どもたちが
ら離れ、
ずっと黄
色の荷車
を、一人
で押して
は立ち止
まってい
る二歳児
のK君の
姿に心惹

姿に心惹



かれ、半日傍で様子を見ていました。

K君の荷車の中には、シャベル、
ペットボトル、そして、お玉が入っ
ていました。しかし、半日の間、K
君は、これらを一度も使いません
でした。とにかく、荷車を園庭のフェ
ンスの近くで押していました。そし
て、しばらく押した後、タイヤにつ
いた土や砂を、手で払い、「見て、
見て。」と、傍にいた私に、きれいに
したタイヤを見るように言いまし
た。このことを、一人静かに何回も
繰り返していたK君でした。私は、
K君のタイヤについた土や砂を落と
す手つきを見て驚きました。指の先
を使い、何回も何回も丁寧にこすつ
て落としているのです。「タイヤを
きれいにしたい」という思いの強さ
を感じました。同時に、なんでそん
なにきれいにするのだろうと不思議
に思いました。

フェンスの外は道路になっていま
す。住宅地ではありますが、田畑も
多くあり、軽トラなどの車がよく

通ってい
ます。K
君が、小
さな指で
タイヤの
汚れを落
として
いた時で
す。大き
なトラク
ターが通りました。K君は、「あっ！」
と言って、フェンスに向かって走っ
て行きました。興奮しながら、見え
なくなるまでじっと見ていました。
私は、その姿を見て分かりました。
「K君、車、大好きなんだね。」と声
をかけると、「うん！」と、大きな声
で答えてくれました。「この黄色い
荷車は、K君の大事な車なんだ。だ
から、大事な車のタイヤをきれいに
していたんだね。」「うん！」と、はっ
きり答えてくれました。自分の大好
きな「車」を「運転」し、タイヤの掃除
をする自分の遊びを楽しんでいたK
君だったので。



一人で遊んでいるK君を無理に
「動」の遊びに入れようとする保育者
はいません。一人遊ぶK君の「静」の
姿を大事に見守っていました。
子どもと関わる者が、子どもをど

子どもと関わる者が、子どもをど

う見ていくことが大切なのか、しっ
かり示してくださっている詩があり
ます。それは、故大槻武治先生が書
かれた詩、『未完の姿で完結してい
る』です。

ああでなければならぬ
こうでなければならぬと
いろいろに思いめぐらしながら
子どもを見るととき 子どもは
じつに不完全なものであり
鍛えて一人前にしなければ
ならないものようである
いろいろならわれを棄て
柔らかな心で
子どもをよく見るとき
そのしぐさのひとつひとつが
じつにおもしろく
はじける生命のあかしとして
目に映ってくる
「生きたい 生きたい」と言い
「伸びたい 伸びたい」と
全身で言いながら
子どもは今そこに
未完の姿で完結している

その時その時を、精一杯生きてい
る子どもに、とらわれのない、柔ら
かな心で寄り添いたいものです。

郡市別保育施設数等の推移

令和3年4月1日

郡・市 保育団体	平成31年4月				令和2年4月				令和3年4月			
	市町村数	施設数			市町村数	施設数			市町村数	施設数		
		計	公立	私立		計	公立	私立		計	公立	私立
南佐久郡	6	9	9	0	6	9	9	0	6	9	9	0
北佐久郡	3	8	7	1	3	8	7	1	3	8	7	1
小県郡	2	3	3	0	2	3	3	0	2	3	3	0
諏訪郡	3	9	9	0	3	9	9	0	3	9	9	0
上伊那郡	6	27	27	0	6	28	28	0	6	27	27	0
下伊那郡	13	32	31	1	13	32	31	1	13	32	31	1
木曾郡	6	11	11	0	6	11	11	0	6	11	11	0
東筑摩郡	5	6	6	0	5	6	6	0	5	6	6	0
北安曇郡	4	6	6	0	4	6	6	0	4	6	6	0
上高井郡	2	3	3	0	2	3	3	0	2	3	3	0
北信	4	8	8	0	4	8	8	0	4	8	8	0
上水内	3	8	8	0	3	8	8	0	3	8	8	0
郡計	57	130	128	2	57	131	129	2	57	130	128	2
長野市(公)	1	29	29	0	1	28	28	0	1	27	27	0
〃(私)		48	0	48		48	0	48		48	0	48
松本市	1	49	42	7	1	49	42	7	1	51	42	9
上田市	1	41	31	10	1	41	31	10	1	40	30	10
岡谷市	1	14	12	2	1	14	12	2	1	14	12	2
飯田市	1	33	16	17	1	33	16	17	1	33	16	17
諏訪市	1	15	13	2	1	14	13	1	1	14	13	1
須坂市	1	15	10	5	1	15	10	5	1	15	10	5
小諸市	1	9	7	2	1	9	7	2	1	9	7	2
伊那市	1	23	19	4	1	24	19	5	1	21	19	2
駒ヶ根市	1	12	10	2	1	12	10	2	1	12	10	2
中野市	1	12	11	1	1	12	11	1	1	12	11	1
大町市	1	8	8	0	1	7	7	0	1	7	7	0
飯山市	1	9	8	1	1	9	8	1	1	8	7	1
茅野市	1	18	15	3	1	18	15	3	1	18	14	4
塩尻市	1	17	15	2	1	17	15	2	1	19	15	4
ちくま	2	21	17	4	2	20	16	4	2	20	16	4
佐久市	1	24	15	9	1	24	15	9	1	24	15	9
東御市	1	6	5	1	1	6	5	1	1	6	5	1
安曇野市	1	21	18	3	1	21	18	3	1	21	18	3
市計	20	424	301	123	20	421	298	123	20	419	294	125
合計	77	554	429	125	77	552	427	125	77	549	422	127
平成30年度	77	556	432	124	(注) 市町村数は、保育施設が存在する市町村。 施設数は、保育連盟加入施設数。 *ちくま保育協会には、坂城町が含まれています。							
29年度	77	555	433	122								
28年度	77	561	444	117								
27年度	77	564	449	115								
26年度	77	568	454	114								

編

集

後

記

令和3年度、最初の「保育しなの」がようやくできあがりました。今年度は関東ブロック保育研究大会の長野開催があり、その報告を掲載するため、例年より遅い発行になりました。

ブロック大会は、新型コロナウイルス感染症予防のため初めてのオンライン配信を活用した研修になり、7月末まで1か月間の長期開催になりました。前例がなく、一からルールを決めていく、ルールを定めながら進めていくため、非常に手間がかかりました。実行委員の皆様、長野県子ども・家庭課の皆様ほか関係の皆様のご多大なご尽力、ご協力により無事大会を終えることができましたものと思います。この場をお借りし、改めてお礼申し上げます。

当連盟の各種取り組みも、これから本格化します。県大会や子育て塾においても、オンライン配信を活用した形での開催になります。皆様のご協力をいただきながら、事業の運営にあたってまいりますので、どうぞよろしく願います。

長野県保育連盟事務局